

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 4 月 20 日 (2017.4.20)

【公開番号】特開 2015-199945 (P2015-199945A)

【公開日】平成 27 年 11 月 12 日 (2015.11.12)

【年通号数】公開・登録公報 2015-070

【出願番号】特願 2015-73460 (P2015-73460)

【国際特許分類】

C 0 8 J 9/35 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 9/35 C E T

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 3/00

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 14 日 (2017.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

連通した空隙を有し、空隙率が 5 ～ 6 0 % である熱可塑性樹脂発泡粒子成形体の前記空隙に、スメクタイトを含有する、セメントまたは石膏の硬化物が充填されていることを特徴とする複合成形体。

【請求項 2】

前記スメクタイトが、モンモリロナイトを含有することを特徴とする請求項 1 に記載の複合成形体。

【請求項 3】

前記熱可塑性樹脂発泡粒子成形体の空隙に前記セメントの硬化物が充填されていると共に、前記熱可塑性樹脂発泡粒子成形体の重量 (W 1) に対する、前記セメントの硬化物の重量 (W 2) の比 (W 2 / W 1) が 3 以上であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の複合成形体。

【請求項 4】

前記熱可塑性樹脂発泡粒子成形体の空隙に前記石膏の硬化物が充填されていると共に、前記熱可塑性樹脂発泡粒子成形体の重量 (W 1) に対する、前記石膏の硬化物の重量 (W 3) の比 (W 3 / W 1) が 3 以上であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の複合成形体。

【請求項 5】

前記熱可塑性樹脂発泡粒子成形体の密度が $5 \sim 30 \text{ g / L}$ であることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の複合成形体。

【請求項 6】

複合成形体の密度が $100 \sim 300 \text{ g / L}$ であることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれかに記載の複合成形体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】